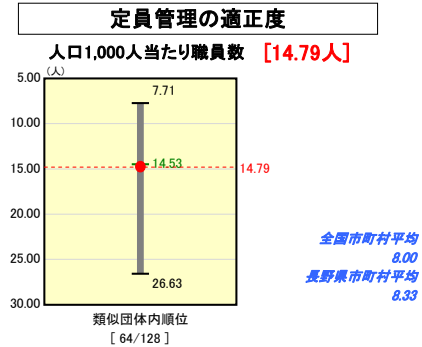
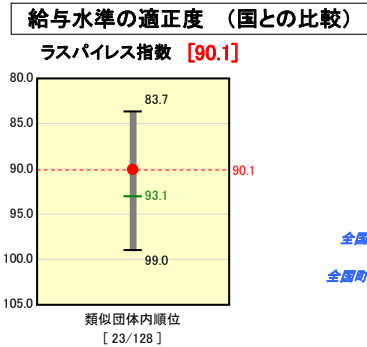
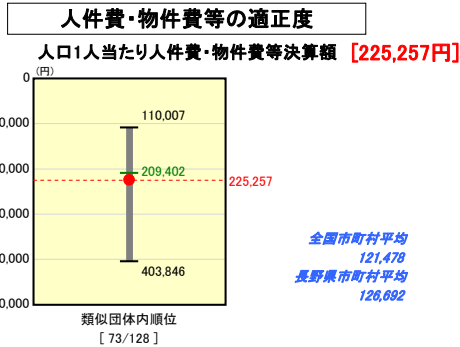
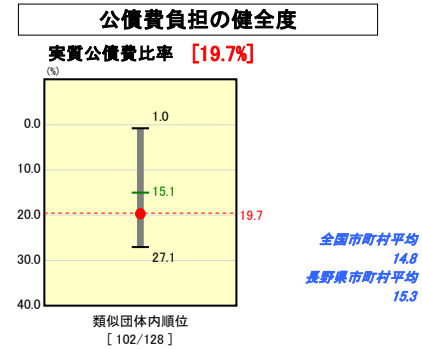
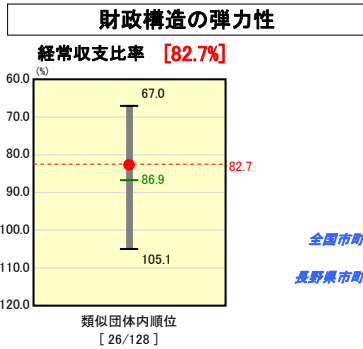
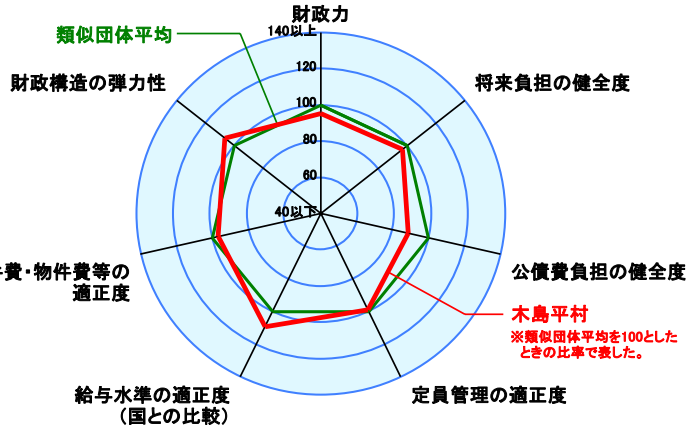
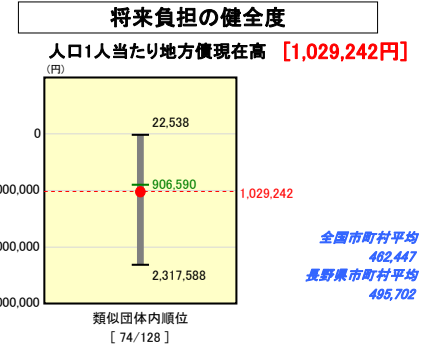
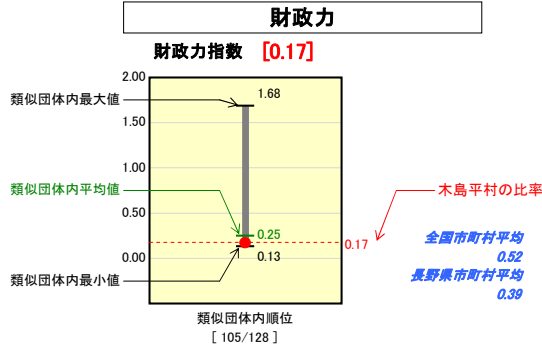


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 長野県 木島平村

人口	5,545	人(H18.3.31現在)
面積	99.31	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,674,400	千円
歳出総額	3,554,158	千円
実質収支	119,865	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:** 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年国勢調査30.9%)に加え、依然景気が低迷している建設業、観光産業の落ち込みにより個人・法人関係の減収などから0.17と類似団体平均を下回っているが、16年度に策定した「自立プラン」では、徹底した事務事業の見直しと、人件費135百万円をはじめとする経常的経費の削減を行い、21年度までに16年度を基準として313百万円の削減に取り組み、財政の健全化を図っている。

**経常収支比率:** 公債費はピークを過ぎ減少傾向にあるが、扶助費、国民健康保険・介護保険・下水道等特別会計への繰出金はほぼ横ばいにより推移すると予想される。一方、「自立プラン」で保育園・小学校の統合と行政組織の再編で一般職員82人(平成18年4月1日現在)を21年度までに13人程度削減、さらに特別職、一般職及び議員報酬の削減で人件費等の経常支出の削減に努め、21年度決算時には80%程度を目標としている。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額:** 人件費及び物件費等の決算額が類似団体を上回っているのは主に人件費が要因と思われる。これは主に保育所や給食センターの運営を直営で行っているためである。今後は、民間でも実施可能な部分は指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コストの削減を図っていく方針である。

**ラスパイレース指数:** 17年度から一般職員の給与を5%カットにより、類似団体を下回る水準となっているが、村内他産業の給与実態との比較を考慮しながら引き続き縮減努力を行う。

**人口1人当たり地方債現在高:** 大型投資事業はほぼ完了しており、地方債の新規発行も抑制しているため、今後減少していくことが予想されるため、今後類似団体の水準となるよう努める。

**実質公債費比率:** 平成12年頃までの集中投資による下水道事業債等の償還がピークを迎えているため類似団体の水準を上回っており、今後3年程度は高水準での推移が予想されるが、23年度には類似団体の水準となるよう努める。

**人口1,000人当たり職員数:** 16年度から早期退職勧奨を行い、退職者が発生しても補充を行わず、組織の再編等により行政サービスの維持を続けており、今後は保育園・小学校の統合、自立プランに沿った事業の見直し等により、自立プランに沿ったより適切な定員管理に努める。